

J-PAC (Japan Program at Chiba) 個人チューターおよびシニアチューター募集要項

千葉大学では、毎年4月と10月に始まるJ-PAC (Japan Program at Chiba)という留学生の受入れプログラムを実施しています。協定大学を中心とする海外の大学の学部生(2~4年生)を11か月間(または5か月間)千葉大学に受入れるプログラムです。

このたび、2026年度4月からこのプログラムに参加し、国際教養学部で学ぶ予定の留学生の**個人チューター**および**シニアチューター**を募集することになりました。

興味のある方は、この要項を熟読した上で申し込んでください。

I. 個人チューター

1. 活動期間: 2026年度第1ターム

※実質的には留学生の来日前の3月中旬から活動を始めていただきます。

※活動時間が25時間に達しない場合は、第2タームまで期間を延長できます。

2. 活動時間: 25時間

3. 募集人数: 24名(予定)

4. 個人チューターの業務(活動内容):

1) 留学生が、日本の生活、千葉大学での勉強に慣れることができるよう手助けをする。

2) 同世代の学生同士、相互理解を深め、互いに学び合う。

① 来日前(3月上旬): オンラインで質問に答えたりアドバイスをしたりする。

② 来日後(3月中旬以降): 日本での生活、大学の学習環境に慣れるように手伝う。

例) 生活用品の買い物に同行、日本語による書類作成などのサポート

③ 授業開始後: 授業関連のサポート、日本語の話し相手など

5. 応募条件: 以下の6つの条件を全て満たしていること。

1) 3月中旬以降、T1の間に、西千葉キャンパスにおいて、週2~3時間対面で留学生をサポートできること。

2) 担当留学生の希望やニーズをくみ取り、責任感を持って、積極的に行動できること。

- 3) 留学生とよりよい関係が作れるよう、他のチューターとも協力できること。
- 4) 事前研修(Moodle オンデマンド方式)を2月6日(金)~2月12日(木)の間に受講できること。

【事前研修について】

- ・ Moodle コース名 国際教養学部チューター候補者事前研修 T1
- ※事前研修には課題の提出がありますので、早めに受講することを勧めます。
- ※登録キーは、チューターに応募フォーム(Google Forms)に記載します。
- ・ 以下の方は、上記4)の事前研修の受講は不要です。
 - 2025 年度 T6 の「留学生支援入門(2)」を登録し、単位修得見込みの人
(単位修得できなかった場合は、候補者になりません。)
 - 「留学生支援入門(1)または(2)」の単位をすでに修得している人
 - 過去に事前研修を受けたことがある人

- 5) 3月5日(木)16:00~17:00のチューターガイダンス(オンラインで実施)に参加できること。

初めてチューターを担当する人も、これまでチューター経験がある人も**全員参加必須**です。

必ず出席してください。ガイダンスに出席できない場合は、採用を取り消すことがあります。

なお、ガイダンスに欠席した場合、次回以降チューターへの応募ができなくなります。

- 6) チューターに求められる書類(指導実施計画書、月間報告書、学期末報告書)を作成し、期限を守って提出できること。

※アルバイト、インターンシップ、論文作成などで時間的な制約が大きい方は、応募をご遠慮ください。

6. 謝金:チューターとしての役割を果たした学生には大学規定の謝金(時給1240円)が支払われます。

7. 応募方法:

2月13日(金)までに「**2026 前期 J-PAC チューター応募フォーム**」から申し込んでください。

応募理由や抱負などを書いていただきますので、時間に余裕を持って取り組むことをお勧めします。

▼2026 前期チューター応募フォーム

<https://forms.gle/hZGH5maXj5XHMwZZ8>

応募フォームには、千葉大学の Google アカウントでアクセスする必要があります。



8. 選考方法:

応募フォームの記載内容、Moodle 上での事前研修の受講状況、留学生とのマッチングを考慮して選考し、

2月27日(金)までにメールで採否をお知らせします。申し込んだ人は必ずメールをチェックしてください。

※採用通知メールへの返信がない場合、ガイダンスに出席できない場合は、採用を取り消すことがあります。

Ⅱ. シニアチューター

1. 活動期間: 2026年度 T1~T2

※実質的には留学生の来日前から活動を始めていただきます。

2. 活動時間: 15時間以内

3. 募集人数: 若干名

4. シニアチューターの業務(活動内容):

- 1) 個人チューター8名ほどで組織するチューターグループのまとめ役をする。具体的には、LINEグループを作って、個人チューターへの声掛けを行うとともに、活動についてのアドバイスを伝えたり、チューター間の関係構築や情報交換(留学生との関係づくりや活動内容について等)の機会を設けたりする。
- 2) J-PAC コーディネーター教員からの連絡を受け、個人チューターに情報を伝達したり、必要に応じて個人チューターへの働きかけを行ったりする。
- 3) 担当グループのチューターがスムーズに活動できるよう、4月下旬に担当グループのミーティングを開き、活動状況を把握した上で、J-PAC コーディネーター教員に報告する。

5. 応募条件: 以下の3つの条件を全て満たしていること。

- 1) これまでに J-PAC 生のチューターを経験したことがあること(回数は問わない)。
- 2) 2026年度 T1~T2 の間に上記の活動をする時間的な余裕があること。
- 3) 3月5日(木)15:30~17:00に予定しているシニアチューター・個人チューター対象のガイダンス(オンライン)に参加できること。全員参加必須です。必ず出席してください。
ガイダンスに出席できない場合、採用を取り消す場合があります。

※ 同時期にシニアチューターと個人チューターの両方を務めることも可能。

6. 謝金: 実働時間に応じて謝金(時給 1690 円)を支払います。

7. 応募方法:

2月13日(金)までに「**2026 前期 J-PAC チューター応募フォーム**」(個人チューターと同一フォーム)から申し込んでください。

8. 選考方法:

応募用フォームへの記載内容にもとづき、**2月27日(金)までにメールで採否をお知らせします。**

※採用通知メールへの返信がない場合、ガイダンスに出席できない場合は、採用を取り消すことがあります。

《問い合わせ先》 国際教養学部学務係 las-gakumu@chiba-u.jp

【J-PAC の概要、チューター制度について】

チューターに応募する前によく読んでおいてください。

1. J-PAC とは (<https://cie.chiba-u.ac.jp/programs/index.html> 参照)

J-PAC (Japan Program at Chiba 千葉大学短期交換留学プログラム) は、「日本研究コース」と「国際教養コース」の2つのカテゴリーがあり、前者は、日本語、日本学を専門とする学生を、後者はそれ以外の専門の学生を受け入れています。いずれも日本語を学習した経験があり、日本文化、日本語に興味を持っていることが参加条件となっています。ただし、学生の日本語力は、ゼロに近い人から上級の人まで様々です。

参加者のほとんどは、協定大学からの交換留学生で、多くが国際教養学部 に所属して、語学としての日本語科目、普遍教育科目、学部専門科目などを受講します。2026 年 4 月は、中国、台湾、韓国、フィンランド、ドイツ、スペインの大学から学生を受け入れることになっています。

2. チューター制度とは

チューター制度は、千葉大学が行っている留学生支援事業の一つで、留学生を生活、勉強の両面で支援するために、受入大学である千葉大学の学生の中から適当な学生をチューターとして留学生に紹介するものです。チューターの役割は、留学生の身分、留学の目的、日本語能力などによって異なりますが、J-PAC 生の場合、本資料1ページ目の「活動内容」に記したようなことが期待されます。

チューターになった学生には、「何か質問されたら答える」といった受け身の態度ではなく、自ら状況を判断して積極的に行動することが望まれます。また、何よりも大切なのは、お互いに信頼し合える関係を築くことです。チ

ューターを務めることは、チューター自身にとっても、自分とは異なるものの見方を学んだり、日本について改めて考えたりするきっかけとなります。自分自身のコミュニケーション能力を向上させるよい機会でもあります。

国際教養学部では、活動時間を 25 時間とし、J-PAC 生が特にサポートが必要な入学前後から最初のタームを主な活動時期としています。

3. チューターとしての義務

Moodle の「2026-J-PAC チューターガイダンス(前期)」に登録し、指導実施計画書、月間報告書、学期末報告書を提出したり、必要に応じて開催されるミーティングに参加したりしなければなりません。

詳しいことは採用された方を対象とするガイダンスでお知らせします。

4. よくある質問(FAQ)

Q: 学部1年生、大学院生でも個人チューターに申し込めますか。

A: 応募条件を満たしていれば申し込めます。

Q: 個人チューターは具体的にどんなことをすればいいのですか。

A: まず、お互いの専門、趣味、日常生活の話などして、距離を縮めるようにしましょう。タームの開始時には、千葉大学の各種システムの使い方を教えたり、履修する科目について相談に乗ったりしてください。来日直後は、身の回りの品を揃えるのを手伝ったり、教室や教科書の買い方を教えたりする必要もあります。ほかにも、授業の予習・復習を手伝う、サークルへの参加をサポートするなど、いろいろ考えられます。また、チューターの役割は、「教える・手伝う」だけに限定されるものではありません。留学生と会話をする中で、相手をよく理解し、自分自身のこともよく理解してもらえるように心がけ、活動を考えてください。相手との関係や活動内容について戸惑うことがあれば、シニアチューターと相談するようにしてください。

Q: いつから活動を始めるのですか。

A: 2026 年度前期 J-PAC 参加者を対象とするオンラインガイダンスが 3 月上旬にあり、留学生にはチューターの氏名等の情報を伝えます。その後、チューターから留学生にメールで連絡をしてもらいます。来日するまでは、メールや SNS 等で連絡を取り、オンラインで質問に答えたりアドバイスしたりしてください。来日後は、できるだけ早く直接会い、日本での日常生活、千葉大学の学習環境に慣れるように手伝ってください。担当留学生は 3 月 21 日(土)~3 月 24 日(火)に来日予定ですので、そのときには対面で対応できるようにしておいてください。

Q: 個人チューターをする曜日・時間は決まっていますか。

A: 決まっていません。留学生とよく話し合って調整してください。直接会う曜日・日時を決めておくことを強く勧めます。

Q: 留学生とは英語で話すのですか。英語があまりできなくても個人チューターになれますか。

A: 留学生はほぼ全員が日本語を学習しています。相手の日本語のレベルに合わせて、自分の日本語を調整して話すようにしてください。英語でのサポートが必要と思われる留学生には、相応の英語力がある方にチューターをお願いします。ただし、留学生は、チューターの英語の練習相手ではありません。また、英語以外の留学生の言語を学習している方には、積極的に応募していただきたいと考えています。

Q: 担当留学生から、チューターでは対応できない質問を受けたようなときはどうすればいいですか。

A: 個人チューターは、シニアチューターからアドバイスが受けられるよう LINE などを使ってグループを作りますので、まずはシニアチューターに相談してみましょう。

なお、J-PAC 生には、事務手続きについては留学生課の担当者に、科目の選択など授業に関することは J-PAC コーディネーターに尋ねるよう伝えています。

また、来日後の留学生の生活面でのサポートは、留学生課内にある国際ナショナル・サポートデスク (<https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/index.html>) でも行っています。日本語に関する質問は、国際教育センター2 階に「日本語支援室」(<https://cie.chiba-u.ac.jp/support.html>) に在室するチューターも答えることができるので、利用するよう勧めてください。